

平成 27 年（第 9 回）みどりの学術賞受賞者

しん じ い そ や
進 士 五 十 八（71 歳） 東京農業大学名誉教授

功績概要

日本庭園について、哲学や歴史等に着目した従来の人文科学的なアプローチではなく、自然科学的な手法を用い、膨大なデータを分析し、その特質を解明した。その結果、日本庭園が、日常生活から隔離された特殊な空間ではなく、農業技術を基礎とし、また自然との共生により育まれてきたわが国の生活・文化、すなわち「農の風景」が凝縮されたものであることを明らかにした。この成果を踏まえ、景観の保全・育成や都市農業の復権に向けた市民活動の重要性を説き、今日、全国各地で見られる市民農園や里山ボランティア等の底流を形作るなど、みどりに対する国民の理解増進に大きく寄与した。

てら しま いち ろう
寺 島 一 郎（57 歳） 東京大学大学院理学系研究科教授

功績概要

植物群落における太陽光の利用というマクロスケールの生態学を、個々の葉内での光利用というミクロな生態学へと発展させた。葉の内部構造と光合成との関係を詳しく調べ、1枚の葉の中でも表面の葉緑体は強い光、裏面の葉緑体は弱い光を利用するのに適した性質をもち、葉全体の光合成の効率上昇に寄与していることを明らかにし、葉緑体分化の謎を解明した。また、大気中の CO₂ 濃度の上昇が植物の生理・生態に及ぼす影響の解明にも成果を挙げるなど、植物生態学をはじめとする幅広い分野の学術の発展に大いに貢献し、みどりに対する国民の理解増進に寄与した。

（年齢は平成 27 年 4 月 27 日現在）